

標準施工仕様書

製品名	タテイルα プレミアムエディション
種別	弱溶剤 2液超低汚染形無機塗料
荷姿	16 kg/セット、4 kg/セット
用途	一般屋根、内外部壁面、鉄部、木部など
適用基材	コロニアル、カラーベスト、スレート、カラー鋼板、アルミニウム板、メッキ鋼板 モルタル、コンクリート、ブロック、鉄部、木部、硬質塩ビ、ケイカル板、サイディング ボード、吹付タイル、スタッコ、リシンなど

工程	材料・調合	調合	所要量/㎡/回 (施工面積/セット/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いて下さい。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
下塗り	下地に応じた下塗材をご使用ください。						
中塗り	セラベース [油性タイプ] 主剤 硬化剤 PXシンナー	13.5 kg 1.5 kg 0~3%	0.12~0.16 kg (93~125 ㎡)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1	3 時間以上	5 時間以内
上塗り	タテイルα プレミアムエディション 主剤 硬化剤 PXシンナー	14.0 kg 2.0 kg 0~8%	0.12~0.15 kg (106~133 ㎡)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1	(4 時間以上 7 日以内)	4 時間以内

注 意 事 項

- ・上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・製品は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・2液反応硬化形は塗料毎の可使時間以内に塗装して下さい。
- ・小分けをする場合は十分攪拌し、均一の状態にしてから行って下さい。色浮き・色違いや硬化不良等の原因になります。
- ・弱溶剤形製品は取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げして下さい。ローラー目により色相が違って見える事があります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・施工環境が気温 5°C 以下の場合・湿度 85%RH 以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けて下さい。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物とし処分して下さい。
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で 15 分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。